

ゼロカーボンシティ表明と計画の策定について

1. ゼロカーボンシティ表明

■ 令和4年6月13日にゼロカーボンシティを表明しました

ゼロカーボンシティとは、2050年までに二酸化炭素排出量の実質ゼロ（カーボンニュートラル）を目指し、市民や事業者等が一丸となって取り組むことを表明した自治体のことです。

本市は、昭和34年に初めて総合計画を策定して以来、都市機能と自然が調和する田園都市の理念を継承し、持続可能なまちづくりを進めてきました。今後も、豊かな自然環境を保全しながら、利便性の高い住みよいまちづくりを進め、都市としての価値を高めていく必要があります。

このため、本市は環境モデル都市として積み重ねてきた実績を基盤に、地域特性を活かした脱炭素の戦略を描き、「2050年ゼロカーボン」の実現を目指します。

■ カーボンニュートラルとは

カーボンニュートラルとは、2050年までに温室効果ガスである二酸化炭素の「排出量」から、植林や森林管理などによる二酸化炭素の「吸収量」を差し引いた合計を「ゼロにすること＝実質ゼロ」とする考えです。

■ 今後の取り組み

2050年ゼロカーボンの目標を達成するため、令和4年度は計画策定に向けた調査業務を実施します。この調査結果を踏まえ、令和5年度に計画を策定、令和6年度より温室効果ガス排出削減等の取り組みを進めます。なお、調査業務の実施及び計画の策定において、本審議会の皆様にご意見を伺うことを想定しています。

2. 調査業務（業務名：帯広市地域脱炭素実現に向けた戦略策定調査業務）の概要

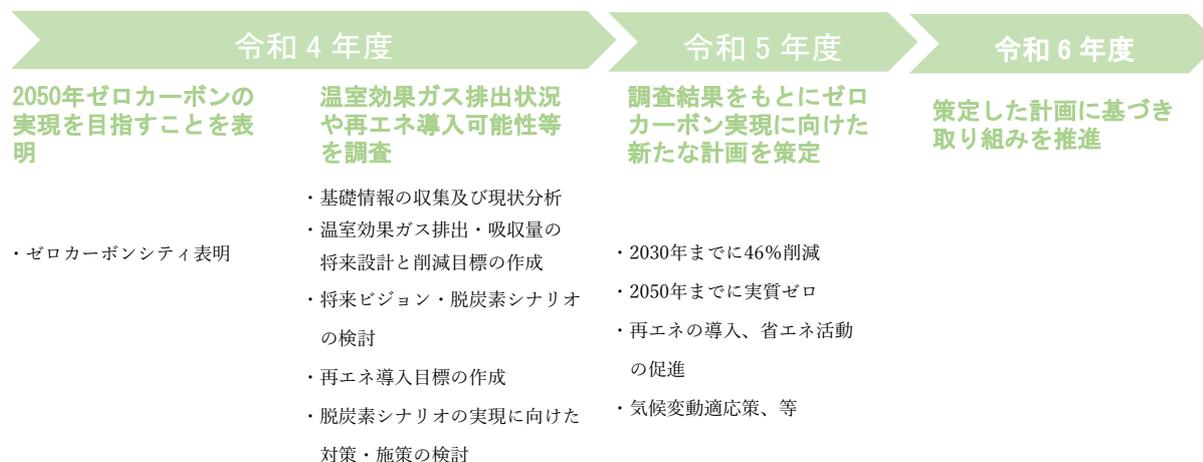
■ 業務の内容

地球温暖化の現状や国内外の動向、本市の地域特性などの基礎情報の収集及び現状分析から、2050年ゼロカーボンの実現に向けた地域課題を分析し、温室効果ガス排出量の将来推計と削減目標の作成結果を踏まえ、2050年の将来ビジョン・脱炭素シナリオ等を検討します。また、中長期的な再エネ導入目標を作成するとともに、脱炭素シナリオの実現に向けた対策・施策等を検討し、進捗状況や成果評価を行うための目標・指標を作成します。

■ 実施期間

令和4年7月26日～令和5年2月28日

3. スケジュール



※調査業務では、2050年ゼロカーボンの実現に向けた地域課題を分析するため、市民の地球温暖化問題等に関する理解度等を把握するためのアンケート調査を取り入れるほか、検討・作成した将来ビジョン等について多様な主体から意見を得るための意見交換会を実施する。